

東海地区協議会 2020年度

監査担当役員 ご挨拶

監査担当役員 川端 裕昌

令和という時代の幕開けから半年程が経ち、2020年は東京オリンピック・パラリンピックという日本にとって明るい期待に満ち溢れています。その一方において、私たちを取り巻く社会環境は激動といえる速さで変化を遂げています。加速度的に変化する地域社会において、青年会議所が最善で最良の組織であり続けるためには、今一度、組織と自らの現状と向き合い、更なる変革を求めなければなりません。そして変革へと向き合い、これまでの普遍的な事柄の不変と変化を見極める、確信的な信念をもつ新しい姿を求めるためには、組織と組織に集う個の変革が必要不可欠です。

本年度、東海地区協議会は、時代に即した組織の在り方を求め、地域社会を牽引する存在となる、次代を輝かすJAYCEEを育成し、持続可能な組織の確立に向けての挑戦を行います。そして東海地区の強みを活かした広域的なネットワークの深化を推進し、地域社会においてSDGsを達成すべく、地域社会の次代を担う人材育成の場となるとうかい号事業、運動の発信から組織拡大、地域社会の発展につなげる東海フォーラムの開催を通して「希望溢れる東海」へと導いていきます。

本年度の全ての運動、事業は、多くの人々を巻き込み、地域社会に大きなイノベーションを生むものであると確信をしております。何かを変えることは単純なことでは無く、変わらずにあることには確かな意味がある。それを知って尚、常に時代を意識して最善と最良を追求し、次代の発展につなげていきましょう。そのためにも、発信する全ての運動、事業の効果を最大限に発揮できるように監査担当役員の職責を全うし、次代への礎となる成長の機会を多く創出する希望溢れる1年として参ります。

結びに、東海地区協議会の運営へのご理解と構成する会員をご輩出頂いております82会員会議所の皆さまのご期待とご協力に応えられるよう、邁進をさせて頂くことをお誓い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。